

アオギリ通信

創刊号



SEEDS OF PEACE! 平和の種を世界へ

発行元：ミュージズの里 <http://musevoice.com/>
編集人：中村里美 伊藤茂利 石塚佐和子
デザイン制作：三浦武治
アオギリにたくして公式HP <http://aogiri-movie.net/>

●アオギリは鳳凰の宿る木と言われている。日本の一万円札にも描かれている。鳳凰は、360種の羽を持つ動物の長であり、平和な世にのみ姿を現すといわれている。す。「アオギリ通信」は、国籍や世代・ジャンルを超えて表現や交流の場づくりを通して、平和づくりにつながる記事や情報の発信をしていきます。皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

●映画「アオギリにたくして」制作ニュース
2012年3月に台本が完成し、ミュージズの里の初プロデュースとなる映画「アオギリにたくして」の製作がスタートしました。たくさんの皆様のご協力をいただき、一歩前に進んでいます！皆様に心より感謝申し上げます。

今後の撮影に向けて、監督が交代となり、脚本家の中村柊斗が手掛けることになりました。来春より、引き続き広島・東京・福島ロケが行われていきます。後世に被爆体験を語り継いでいくことのできる映画となるようスタッフ一同全力投球でがんばっていきたく思っています。皆様何卒よろしくお願ひ申し上げます。

☆「アオギリにたくして」公式サイト <http://aogiri-movie.net/>

●ご支援ありがとうございます！

映画「アオギリにたくして」に賛同し協賛して下さっている「ネバーアゲインキャンペーン」(NAC)代表の北浦葉子さんより応援メッセージをいただきました。NACは、アメリカの平和学教授レイスロップご夫妻と北浦葉子さんによって始まった日米協力による草の根プロジェクトです。

あれは21才の時。葉子さんとの出会いによって、私の人生は大きく変わりました。「TO HAVE」ではなく「TO BE」の人生を!!物をもつことで豊かになる人生ではなく、自分自身の心を豊かにし、在り方を考える機会を与えていただきました。まさに心の宝箱に原石を集めていく体験でした。今こうしてチャレンジし続けることができれば、その原石たちが光を放ってくれているからなのだと思います。

26年前、アメリカでヒロシマ・ナガサキを伝え歩いた体験は、私の人生の原点です。NACの皆様はじめ、故・沼田鈴子さんを知る人々、そしてこの映画に賛同して下さる皆様からのご支援によってこの映画はつくられています。皆様に心より感謝申し上げます。

映画「アオギリにたくして」をつくり上げる過程の中で、何度なくじけそうになった時、応援して下さる皆様に励まされ、前に進む勇気をいただきました。これからも大変な事がまだまだたくさんあると思いますが、乗り越えなければならぬ壁がたくさんありますが、原点を忘れることなく、一歩一歩、前に進んでいきます。いつも応援してくださる皆様に心より感謝申し上げます!! (プロデューサー 中村里美)

△北浦葉子さんからの応援メッセージ
ネバーアゲインキャンペーン (NAC) ナックの活動は1985年に始まり、これまで50名を超えるNACボランティアが海外にわたり、ヒロシマ・ナガサキの被爆者のメッセージ運んできました。具体的には、主にアメリカの学校をまわり、日本文化紹介を交えながら原爆映画を上映してきたのです。今年2012年までの27年間で、私たちの話を聞いてくれた聴衆の数は36万人を超えるまでになりました。

そして、この度の映画制作活動を始めた中村里美さんは、NACボランティアの第一期生であります。彼女は2本の原爆映画を持ってアメリカの、特にアラソカ州を駆けまわって平和のメッセージを伝え続けました。

私たちの活動がこれまで多くの支持を集めてこられたのは、私たちが上映し続けた映画、「にんげんをかえせ」の素晴らしさにあると言っても過言ではありません。私たちはアメリカに行く前にいつも広島、長崎で合宿を実施し、映画「にんげんをかえせ」の主人公の方々に直接お話しを聞き、そのメッセージをアメリカの人々に運んだのです。アオギリにたくしてのモデルとなった故・沼田鈴子さんはその映画の主人公の一人でした。

沼田さんは私たちの活動に心から賛同してください、いつも力強く支え、励まして下さいました。私たちのメンバーの多くは、戦争を知らない若い世代で、そういうメンバーたちに、原爆がいかに必要なものであるかを、切々と語り続けてくれた沼田さん。私たちは彼女の思いを世界の人々に伝えることを自分たちの使命とさえ思っていました。沼田さんの思いはどうしても引き継がなければならない。日本中、そして世界中の人々に。そして、その手袋がNACの活動であり、里美さんの映画であると思っています。原子爆弾や放射能の恐ろしさを真に伝えられるもの、それは世界の人が耳を傾けなければならぬものであるはず。

里美さんの映画は、その貴重な被爆者のメッセージを未来に残すもの。だから、絶対に成功させてほしい。私たちは、一杯彼女を応援したいと思っています。里美さん、がんばれ!!!
(ネバーアゲインキャンペーン代表 北浦葉子)

●映画「アオギリにたくして」の原作が出版予定!!
脚本を書いた小説家の中村柊斗は、2010年10月、『夢幻の如くー異聞・本能寺の変』で作家デビュー。2011年6月には、『奇蹟の如く 異聞・島原の乱』(廣済堂出版)が発売される。来月、11月23日には「最後の贈り物」が双葉社より出版予定!また、徳間書店より「ミュージカル殺人事件」(仮題)が2013年3月頃に出版予定!そして「アオギリにたくして」は、中村柊斗5作目の作品として書籍化が予定されています。

☆映画「アオギリにたくして」の収益金は、世界の国々にヒロシマ・ナガサキを伝えていくAOGIRIプロジェクト「Seeds of Peace」の活動に使われます。映画の上映や被爆アオギリ2世の植樹、各国との文化交流などを通して世界の人々と共に平和づくりをすすめていきます。是非皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

◆郵便振替【口座名】アオギリにたくして制作委員会
【口座番号】0013007-267217

アオギリサポーター大募集!!!
映画「アオギリにたくして」を応援して下さるボランティアを募集しています!!

●アオギリ通信を公共施設(学校・図書館・公民館など)やお店等で広めて頂ける方、または置いて頂くようお願いして頂ける方 ●映画をご紹介頂き、本チラシをお渡し頂ける方 ●映画製作のお手伝いをして下さるボランティアの方 ●映画完成後、全国での上映にご協力くださる方 ●チャリティーライブ「アオギリにたくして」にご出演して下さる表現者の方 ※お気軽にお問い合わせ下さい!

Tシャツやバッジを購入頂く事で映画製作のご協力も頂けます。

バッジA バッジB
缶バッジ: 各300円(税込)
(全サイズ: 32mm)

Tシャツカラー:
ライトイエロー・ホワイト・ライム・ブルー
Tシャツ: 各3,000円(税込)

バッジC バッジD バッジD バッジD

※ご購入につきましてはメールで info@musevoie.com までご連絡下さい。